

さくらり

酒田市農業委員会報 No.24



「今が旬！ 庄内柿の収穫作業」 東平田・生石地区

特集

秋の味覚で 採れたてリレー SAKATAの旬で満腹・満喫!! (2、3面)

～酒田市農林水産まつり・小学校稲刈り体験など～

建議・要望を市長に提出 (4面)

酒田の花弁 輸出の可能性を求めて (5面)

～ロシア ハバロフスク・ウラジオストク商談会に参加して～

農地パトロールを実施しています (6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

麦わら通信 短信 (7面)

23年 秋季号



秋の味覚で採れたてリレー SAKATAの旬で満腹・満喫!!



美味しい秋がどっさり

酒田市農林水産まつり

2011



つや姫レディがプレゼント&PR



ば〜ん!! 名物バクダンあられ



農業委員会のブースは大盛況



園児もダンスや太鼓で大活躍



酒田女鶴でよいしょ!よいしょ!



風船で農業者年金のPR



酒田の美味しい農産物が大集合



お米の鏡割りでまつりスタート



サツマイモ掘りの秘密兵器!?

今年も宮野浦地区の一八〇〇㎡の畑にサツマイモ(紅あずま・金時)を栽培し、秋晴れとなった一〇月一四日に収穫期を迎え、農業委員による共同作業でいい汗を流しました。

今年は大豊作!
さつまいも収穫で
耕作放棄地をなくそう
一市三町の合併から六年が過ぎました。農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地も年々拡大しています。
農業委員会では、耕作放棄地の解消と農地の有効利用を目的に、これまで「飛島のゴドイモ作り」や「宮野浦地区でのサツマイモ作り」に取り組んできました。



ほっかほかの焼き芋でPR

今年も豊作。味も上々。農林水産まつりでは、焼き芋にして市民の皆さんに味わっていただき、サツマイモの美味しさと共に、農地の有効利用をPRしました。
これからは、農地の保全と安全な食料の確保が地域農業の課題です。

(佐藤六雄委員)



大豊作で収穫もたいへんです

早く食べた方がよい! 子どもたちの稲刈りの体験

実りの秋に市内の各小学校では、春に自分たちで田植えを行い元気に育った稲の刈取りと脱穀の農業体験が行われました。田んぼの先生に稲の刈り方を教えてもらい、昔ながらの稲刈りに挑戦した子どもたちは、初めての鎌の使い方にも苦労していましたが、一株一株ていねいに刈り取っていました。

最後に、刈り取ったお米を食べることを楽しみにしている子どもたちから、田んぼの先生にたくさん質問と感謝の言葉がありました。

田んぼの先生 教えてください!!

Q米作りをしていて嬉しいことは何ですか?
A子どもたちがいっぱいお米を食べてくれることです。

Q米の栄養分は何ですか?
A勉強したり走ったりするためのエネルギー源となる炭水化物が多く含まれています。

Q自分で品種改良はできますか?
Aとても難しく時間がかかるので、専門の人が研究しています。

Q米にはどんな病気がありますか?
A一番怖いのは、いもち病ですが、最近は品種改良で病気に強くなっています。

Q米粉の良い所は何ですか?
A小麦粉と違い、輸入に頼らなくてもよいことです。

脱穀もお米作りの大事な作業です
子どもたちは稲刈りに夢中

去る一〇月二三日に中町中和会商店街・中町モールを会場に、農林水産まつりが開催されました。当日は、時おりにわか雨の降るあいにくの天候でしたが、たくさんの方で賑わいました。開会式では、市長から「今日は一日楽しんで、酒田の農産物のファンと宣伝マンになってもらいたい」とあいさつがあり、毎年恒例の「お米の鏡割り」でスタートしました。
農業委員会の展示コーナーでは、地元の農産物の紹介や風船のプレゼント、バクダンあられのプレゼント、ゴドイモとサツマイモの試食、そして宮野浦地区の畑に耕作放棄地解消のために農業委員自ら栽培したサツマイモの販売も行いました。
今年も、会場が変わりいろいろ心配もされましたが、どのイベントも大勢の行列ができるほどで大盛況に終わることができました。

(齋藤均委員)

『届けます!! 農業者の声』

酒田市農業のさらなる振興のため

市長に『建議』『要望』を提出

農業委員会では、農業者の声を本市農業政策に反映させるべく、九月二三日、市長へ「建議」「要望」を提出しました。その後、市議会経済常任委員長に対しての協力要請も行いました。作成にあたっては、広く農業者、農業関係団体等の意見を集約し、取りまとめました。建議、要望の内容については、次のとおりです。



要望内容(抜粋)

平成23年度 建議の骨子

はじめに

- ◎農業者主導による農業ビジョンの構築
- ◎農業者のセーフティーネットとバックアップ体制の構築

1. 農商工連携について

- ◎新しい発想を集約する異業種交流の機会の充実とその実現に向けて支援する制度の新設

2. 農産物消費拡大について

- ◎産直販売と系統販売での粘り強いマーケティングの展開とメディアへの積極的なアプローチ

3. 新規就農支援について

- ◎農業技術習得機会の充実や農村生活を体験できる体制整備など酒田市に定住したくなる受け入れ体制の整備

4. 女性農業者について

- ◎意思決定の場へ積極的に参画できる環境と思いを語り合えるネットワークづくり
- ◎夢の実現に向けたビジョンづくりの援助など幅広い支援のできる推進員の配置

5. 食育・グリーンツーリズムについて

- ◎食について広く知識を有する食育アドバイザーの育成と配置
- ◎グリーンツーリズムのコーディネーターの育成と派遣、活動助成制度の充実

6. 原発事故に伴う風評被害対策について

- ◎安全・安心が確認された農畜産物の風評被害を防止するため、安全性のPRを強化するなどのきめ細かな対応を国や県へ働きかける

- ◎中山間地域及び砂丘畑における農用地の水害や土砂災害の復旧に対する早急かつ適切な支援
- ◎農地・水保全管理支払交付金事業（共同活動支援交付金）の継続
- ◎環境保全型農業直接支援対策での速やかな情報伝達と事務処理の円滑化
- ◎全県エコエリア構想での事務処理の円滑化と堆きゅう肥料の促進

- ◎公道や河川法面の草刈りを請け負う組織への草刈り機導入等の支援
- ◎高齢者や女性が安全に作業できる環境づくりの推進
- ◎砂丘畑の農道整備・排水整備に対するさらなる支援
- ◎中山間地域で暗きよ排水工事が行われなかった圃場での暗きよ排水の整備
- ◎農畜産物全般の放射性物質調査方法の確立と細分化した地域での実施
- ◎細分化された地域での調査結果の公表
- ◎風評被害が認められた場合、速やかに賠償に応じるよう国等への要請
- ◎畜産農家が使用する安全な稲わらの確保



市議会への協力要請

酒田の花弁 輸出の可能性を求めて!!

～ロシア ハバロフスク・ウラジオストク商談会に参加して～



青空の下で行われる自由市場



酒田の花弁の素晴らしさをPR



店頭では色鮮やかな花が揃います

酒田の花弁の輸出の可能性を調査するため、一〇月一〇日から一六日に行われた山形県ハバロフスク・ウラジオストク商談会に参加しました。

商談会では、ストック・トルコギキョウ・啓翁桜・ラナンキユラス・オリエンタルユリ・アルストロメリア・ダリア・ケイトウ・ヒマワリ・葉ボタンの一〇種類を提示しました。興味を示した花は、アルストロメリア・啓翁桜・トルコギキョウ・ダリアの順で価格や運送手段、検疫等について話し合いました。

ロシアでは、日常的に男性が女性に花を贈る習慣があり、三月八日の国際婦人デーには国民のほとんどの男性が女性に花を贈るとのことです。その時は膨大な量の需要があるそうです。

習慣も違い、赤いカーネーションは葬儀用の花であって、また奇数と偶数の持つ意味が日本とは正反対で、プレゼントなどは奇数本、葬儀などは偶数本とのこと。何と言っても赤い大輪のバラが主流であり、その他は添え花で使用することでした。

今回の商談会に参加して、酒田の花弁輸出の可能性は、円高の問題はあるものの限りなく有望であり、将来的に発展していく取引の商談ができたと思います。ロシア極東地域は全般的に日本びいきで、好意的であることも商談の成果に有効に作用すると感じました。

(柿崎一美委員)



ウラジオストク港湾の視察



知事の山形県PRプレゼンテーション



位置図

ハバロフスク・ウラジオストク商談会での主な日程

【ハバロフスク】

- ・ 県知事による山形県PRプレゼンテーション
- ・ 6社との商談会
- ・ 現地のスーパーと自由市場の視察

【ウラジオストク】

- ・ 在ウラジオストク日本国総領事館表敬訪問
- ・ 2社との商談会
- ・ ウラジオストク港湾海上視察
- ・ 現地の花屋の視察



農地は無断で 転用できません!!

農地を転用する行為は、許可（市街化区域内では届出）が必要です。

農地を工事などの仮設事務所や資材置場として一時的に利用する場合でも転用許可が必要です。

☆農地の所有者を含め違反転用者には 厳しい措置がとられます

農業委員会が工事の中止等を指示し、もとの農地に復元させることがあります。

3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人については1億円以下の罰金）に処せられることがあります。

☆農地違反転用の通報

農地違反転用を発見したら、農業委員会か、地元の農業委員へ通報してください。

★農地違反転用の連絡先

酒田市農業委員会 Tel.26-5767

農地パトロール実施中

農地を守って活かす

農業委員会では、優良農地の確保と有効利用に向けた耕作放棄地の発生防止と解消、意欲ある多様な農業者への農地集積の推進を図るため、年間を通じて利用状況調査を行っています。また、八月から十一月を強化月間に設定し、耕作放棄地や違反転用等の早期発見・是正に取り組んでいます。

農地は、国民に食料を供給するための基礎的な生産要素であり、農業者にとっても重要な生

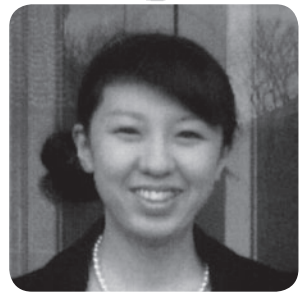


農業委員による巡回

産基盤ですが、一旦荒れてしまうと、復旧には多大な労力と費用が必要になります。大切な資源を次世代に引き継ぐため、地域の優良な農地をみんなで守って、活かしましょう。

かせい

～若手農業者リレーエッセー～



私が浜中の農家の長男と結婚して四年、仙台から二人で帰り農業始めて三年と、まだまだ未熟者です。

『大切にしたいこと』

浜中 高橋 優子

帰ってきた頃は、農業をしている友達もいませんでしたし、近所に知り合いもいなかったりで、孤独感や疎外感を感じていました。主人が青年会などの地域の活動に参加することで私も知り合いが増え、子どもの保育園のお母さん達とも話ができるようになりました。幸い、地域には農業をしている方が多いので参考にさせてもらっています。

また、産直に生産物を持つていくといろんな方が声を掛けてくれます。先輩方のお話もとても参考になり、もっというんな話を聞ける場所があればいいと思います。

私自身、農業に携わり、子どもが生まれることで、食に対する考えも変わりました。目に見える「安心・安全」の大切さ、そういう物だけを口にできるのが何よりも本当の幸せだと思えます。これからも家族や地域の方々に支えられ、育ててもらいながら農業を続けていきたいと思えます。

この三年の間に子どもも生まれ、生活環境は劇的に変化しました。その中で私が大切にしたいことは、夫婦の関係を維持するということです。二四時間ほば一緒に過ごす仕事だからこそきちんと向き合い、何でも話し、お互いを尊重し、いつも笑い合える夫婦でいたいと思います。

もう一つ大切にしたいのは、地域との繋がりで、農業をしていくにあたり、それがどんなに大切か分かってきました。



東京 武蔵野市

麦わら通信

～売れています!!
酒田の農産物～

「10周年を迎えて」

麦わら帽子は、関係者皆様方のお力添えのおかげで一〇月に一〇周年を迎えました。

九月二日から十一月六日までの一ヶ月半という長い期間にわたり、開店記念イベントを開催したところ、連日今までにない来客数・売上げを上げることができました。私自身は五周年から着任し、前年度までの期間に順調に酒田市産とともに業績を伸ばすことができました。

しかしながら、東日本大震災の様々な風評被害の怖さは、商売にも大きく影響しました。開店時からのモットーで、安心・安全というキーワードを何度となく言い続けてきましたが、あくまで安心・安全は基盤であつて、正直大切なものは鮮度や味だと思っていたのが本音でした。実際庄内野菜などの鮮度・味で、生鮮品シェア六割の麦わら帽子が成り立っていると考えていました。

ところが、今年六月の出来事です。麦わら帽子の斜め前には、高知屋という高知県のアンテナ



昨年酒田を訪れた時の村田さん

ショップがあります。高知屋も麦わら帽子同様に野菜・果物を店頭で販売しています。麦わら帽子では、酒田市から仕入れたキャベツや葉物などを一三〇〇～一五〇〇円で販売し、高知屋では同様のものを三〇〇～四〇〇円で販売していました。結果は、私が見ていたところ三割の人が高くても原発から遠い地域の野菜を選ばれていました。

これは一番ビークだった放射能問題で騒がれた極例ですが、東京の消費者の現実です。商品情報においても驚くほどよく知っています。逆に情報に流されやすい面もあります。どんなに大丈夫と話しても信じてもらえず、店の信用が揺らいだ気分でした。

しかし、今後も様々な状況に

悩まされる可能性や不安を払拭しつつ、揺るぎない思いで生産者の方々と消費者との架け橋が麦わら帽子の使命です。生産者の方々と一緒に悩み考えながら物作りを行い、経過を消費者に伝えられるような物の流れが必要だと考えます。既に動き始めている方向性として、武蔵野市並びに長野県安曇野市とは、完全契約農家のみの仕入れとなりました。

今までの直売所仕入れから、一歩踏み込んだ直接仕入れへ、顔が見えて安心と信用をモットーに生産者の方々と今後は歩んで行きたい。それが、TPPや近年の気候の変化にも対抗する手段だと考えています。
(統括マネージャー村田和彦)



毎月行われる酒田フェア

短 信

農業委員選挙人名簿

登録申請について

農業委員の選挙人名簿は毎年一月一日現在で調整されます。郵送での送付・提出となります。申請書は、平成二四年一月一日(火)まで郵送ください。

住所要件

平成二四年一月一日現在で酒田市に住所を有する者

年齢要件

平成二四年三月三十一日に満二〇歳以上の者(平成四年四月一日以前に生まれた者)

耕作要件

①一〇以上の耕作業務を営む者(経営者)

②耕作業務を営む者の同居の親族または配偶者(耕作従事者)

③一〇以上の耕作業務を営む農業生産法人の組合員・社員

②、③については、年間六〇日以上耕作に従事する者です。

農業委員の改選について

農業委員改選が行われ、一月一日より新しい委員となります。次回新春号で紹介いたします。

ひと 酒田のキラリな女性たち ✨ 「東平田さくらグループ」



東平田さくらグループの皆さん



せんべい機を使って1枚1枚手作り

平成七年、地域に根差した活動をということで、米と大豆を使って、大豆せんべい作りをスタートしました。酒田市の六次産業化の勉強会にも参加し活動してきましたが、自ら作って販売することは決して順風満帆ではありませんでした。

当時のJA庄内みどり組合長から「二人三脚でおいしいせんべいを作ろう」と励まされながら、毎日せんべい作りをしましたが、夜にせんべい機の音が耳について眠れない日もあり、物作りのたいへんさを実感しました。

しかし、今では酒田女鶴パンや獅子クッキーなどの販売も行い、消費者の皆さんに「おいしいですね」と喜んでいただけると苦労も忘れてしまいます。首都圏にも私たちの手作り品を楽しみにしてくれているお客様がたくさんいます。

私たちは、多くの方々の理解と支えがあること、そして感謝の気持ちを忘れずに、これからもがんばっていきます。

代表 荘司 和子 / 会員数6名



子どもたちの酒田女鶴パン作り体験



子どもたちの質問に答える荘司さん

編集後記
 五十嵐弘樹 後藤 保喜
 齋藤 均 佐藤 六雄
 小松 賢 関口 友子
 松本 国博

会報委員長 富樫 一彦
 副委員長 千葉 明

平成二三年は忘れ難い年となるでしょう。一月の大雪、三月の地震、六月・八月の豪雨と立て続けに自然の猛威にさらされ、人間の無力さを痛感させられた一年でした。残り二ヶ月、平穏な日常が過ぎますように。

先月、一人の「予言者」が逝去した。彼の名はステイブ・ジョブズ。アップル社の長である。Macでコンピュータと人を繋ぎ、iPodで音楽を生活の一要素とし、iPhoneでケイタイとネットを融合させ、社会に変革をもたらした。それらは現在スタンダードとして認知されている。彼が次に予言したのはテレビであると言う。農業委員の改選にあたり、現会報委員九人も任を終了します。これまで編集に係わってくださった皆様・読者の皆様には大変感謝を申し上げます。三年間ありがとうございました。

(kaz)

